

一学期 終業式式辞

皆さんには「言葉の力」について話してきましたが、一学期、心に残った素晴らしい言葉がありました。

まずは、沖縄修学旅行で横田彩羽さんが平和の礎で読み上げた平和へのメッセージです。通信で紹介しましたね。今の平和を大切にしたい。未来も平和であり続ける様、みんな学び続けたい。という決意が語られていました。そして、返還50年という節目の年に沖縄で平和学習ができたこと、作文を書いたこと、亜熱帯の生活や異文化体験、素晴らしいパフォーマンス、3年ぶりに行くことができた2泊3日の修学旅行は最高の思い出となりました。

次に、男子バスケットボール部の言葉です。今回の揖龍大会は異例の順位決定戦となりました。試合は残念ながら敗れ、西播大会出場は叶いませんでした。悔しかった私はそう思いました。その後、相手ベンチの前に整列した部員たち、そのときキャプテン田中大雅さんから、「僕たちの分まで、西播大会、頑張ってきてください。有難うございました。」という言葉が奏せられました。礼をした選手、スタンドにいた選手、みな、心からそう思っているのがわかりました。会場で拍手に包まれました。勝ったチームに送られた拍手より大きかった。部活動を通して皆さんの心に育まれたスポーツマンシップはこういう時、自然に出るもので、一生ものだと感じました。

最後に、皆さんの「こんにちは」というあいさつです。皆さんにとっては当たり前のことかもしれませんが、今の新宮中ほど挨拶をする学校を私は知りません。挨拶が大事だと思うその心が大事です。この雰囲気を作り出している生徒会執行部の皆さん、先生方に深く感謝し、一人一人を褒めたいと思います。あいさつとは相手の存在を認め、心を開くこと。人に対していつも気持ちいい挨拶をして心を開くことができる人には、他の人も心を開いてくれます。

私は、幸せに生きる秘訣は、「あいさつ」「掃除」「素直」だと思います。「挨拶」はできているので、「掃除」と「素直」ですね。意識して下さい。この夏休み、コロナという厳しい状況でのスタートになりますが皆さんが様々なことにチャレンジし、たくさんのお話を学ぶことができる夏休みとなることを期待しています。くれぐれも、安全には気を付けて下さい。九月に遅く成長した皆さんと元気に会える日を、楽しみにしています。

令和四年七月二十日 たつの市立新宮中学校長 堀 富雄